

一般公開セミナー

「宮城県沖地震研究の最前線」

平成19年10月27日(土)

13:30—16:30(開場 13:00)

仙台市情報・産業プラザ(仙台駅前 AER 5階)

入場無料



仙台平野の地層に記録された巨大津波の痕跡 —西暦869年貞観津波の実像—

岡村 行信(産業技術総合研究所活断層研究センター)

海溝型地震履歴研究チーム長



想定宮城県沖地震の震源域で 何が起きているか?

長谷川 昭(東北大学大学院理学研究科)

地震・噴火予知研究観測センター・センター長・教授)

主催：社団法人日本地震学会

セミナーへ参加希望の方は、住所・氏名・参加人数を明記の上、Fax
またはe-mailで10月20日までに下記へお申し込みください。当日、
席に余裕がある場合は、事前申し込みなしでも参加可能です。

後援：宮城県・仙台市・宮城県沖地震対策研究協議会・仙台ライフライン防災情報
ネットワーク・日本自然災害学会東北支部・自然災害研究協議会東北地区部会

問い合わせ先：東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター
〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

電話：022-225-1950 FAX：022-264-3292

e-mail：koukai-seminar@aob.geophys.tohoku.ac.jp

